

第2回 青山保健センターの利活用に係る公募型プロポーザル審査委員会 概要

日時：2025(令和7)年11月12日(水) 15時00分～
場所：ハイトピア伊賀5階学習室2

《参加者》

委員	第1号委員（社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会の代表者）	平井	俊圭
	第2号委員（伊賀市健康づくり推進協議会から選出する者）	富岡	憲子
	第3号委員（阿保地区住民自治協議会の代表者）	福本	智一
	第4号委員（経理に関する専門的知識を有する者）	辻村	美樹
	第5号委員（市の職員）	川北	喜道
	第6号委員（市の職員）	（欠席）	福岡 秀明

事務局：福岡健康福祉部次長、住澤健康推進課長、中川健康推進課主幹

1. あいさつ（委員長）

青山保健センターの利活用に係る公募型プロポーザル審査委員会設置要綱」第6条第4項の規定により会議は非公開、会議概要のみ後日公表とすることについて委員の承認を得る。

2. 参加表明書等の受付結果について（事務局）

《経緯》

- ・公告・募集要項等の公開 令和7年 8月25日（月）
- ・質問書の受付期限 令和7年10月17日（金）
- ・参加希望表明書等の受付期限 令和7年10月24日（金）

《ダイレクトメールの送付》

昨年実施したサウンディング調査による、おおよそ興味を示された事業分野が医療福祉事業関係だったことから、介護老人施設や病院等で2施設以上の複数施設を管理運営している事業者、主に東海、関西圏の法人、合計247法人にダイレクトメールを送付したが問い合わせ等は無し。

《参加希望受付の結果》

受付期限までに申込者は無し。

◎委員からの主な意見など

- ・土地がプロポーザルの対象外だったこと、譲渡でなく貸付だったことも原因の一つかもしれない
- ・施設の老朽化による改修費用が相当大きくなることが原因ではないか
- ・隣接する青山福祉センターと一体として活用できないか
- ・健康増進施設としてでなく、普通財産として今後プロポーザルの可能性はあるのか
- ・伊賀市にとって一番いい方法を見つけていただきたい
- ・利用者への説明と今後の方向性をよく検討していただきたい

3. その他

今回、応募がなかったことについては、やむを得ない面があるとの意見が多く出され、当審査委員会として、本件公募型プロポーザルは、今審査委員会をもって終了とすることが適当であるとの判断となった。